

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 鳳会)
事業所名 (特別養護老人ホームふじトピア)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1520			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	7 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・徘徊がある利用者や転倒のリスクがある利用者に使用しており、全7台使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の睡眠・覚醒の状態確認。 ・利用者の毎日の睡眠状況確認。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで、利用者の転倒等の事故防止に繋がっている。 ・臥床中の呼吸数や心拍数を把握できる為、ご利用者の体調の変化にいち早く気付くことができる。 (職員に対する効果) ・徘徊や転倒リスクのある利用者の状態や動きをリアルタイムに把握することができ、早めの訪室や声掛けで利用者の転倒等の事故防止になる為、職員の安心感に繋がっている。 ・夜間の睡眠状況のデータを活用し情報共有することで、ご利用者の日中および夜間のケアに役立っている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 風会)
事業所名 (ふじトピア短期入所生活介護事業所)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1520			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	1 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・徘徊や転倒のリスクがある利用者、体調が優れない利用者が利用する日に使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の睡眠・覚醒の状態確認。 ・短期入所利用日の睡眠状況のデータ ・臥床時の呼吸数、心拍数の確認			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで、利用者の転倒リスク軽減に繋がっている。 ・臥床中の呼吸数や心拍数の把握で、体調の変化に気づくことができる。 ・利用中の夜間の睡眠状況等をケアマネと共有することで、受診や介護サービス利用に役立ててもらっている。 (職員に対する効果) ・徘徊や転倒リスクのある利用者の状態や動きをリアルタイムに把握することができ、早めの訪室や声掛けで利用者の転倒等の事故防止になる為、職員の安心感に繋がっている。 ・睡眠状況の把握により、利用者の日中の過ごし方を変更する等、ケアに役立てている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 清秀会)
事業所名 (ケア・センターひまわり)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
見守りシステム M2 FBR-N135 PS02/M2			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
元年 10 月	10 台	令和元年 10 月 24 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 認知機能や身体機能の低下で、ナースコールをしない、出来ない利用者様が日中・夜間を問わず自らの意思で排泄その他の行動のため離床しようとし、転倒転落の危険性が高まっている。これらのリスクを早期に把握し対応できるように見守り機器を使用しています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・要介護者が日中夜間を問わずベッドから離れようとしている行為の検知対応 ・要介護者が車椅子から離れようとしているトイレ内の行為の検知対応 ・要介護者が車椅子から転落・転倒している状態の検知対応			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒転落による怪我や事故の予防 ・センサー音により適時的確なケアへの援助が可能 ・利用者様は介護職員に見張られていない状態で自由に行動をする事ができる (自立援助と自主性の尊重) (職員に対する効果) 職員の転倒・転落による意識の違い (知識・技術の差) の理解 人材不足・疲労・ストレスの軽減 施設の環境整備向上に対する職員の意識 利用者の錠以上の把握と安心・安全な生活の支援			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)
 事業所名 (ラクラス可睡の杜レジデンス)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 8 月 31 日	5	2019 年 8 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 ・終末期の入居者の心拍の確認ができた。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス上島ショートステイ)

サービス種別 (単独型短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 8 月 31 日	3	2019 年 8 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある利用者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある利用者の起き上がり情報 ・利用者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 浩葉会)

事業所名 (ショートステイ 萌の家)

サービス種別 (短期入所生活介護)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウントベッド株式会社「眠りスキャン」NM-1310	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9 月 30 日	令和元年 9 月 30 日	令和元年 9 月 30 日	無
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 1 台導入。 夜間帯のトイレ誘導対応が頻回する方や安眠できない方を対象とし、睡眠状況および起床をセンサーで感知することで巡回の効率化、リスクマネジメント、要因分析ができること。 耐圧および心拍数を計測するマットをベッドに敷く機器となるため、これまで運用していた赤外線センサー等と比較すると精度が高いこと。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) センサーを活用することで夜間帯の行動を把握することができたこと。 行動を把握することで巡回時の注意事項を共有することでリスクマネジメントが行えた。 (職員に対する効果) センサーによりパソコンで利用者の様子が把握できること、音で警告されることから巡回を効率化することができた。 利用者の睡眠状況を把握することで生活リズムを把握することができるので個別ケアに専念できた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 光湖苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーター 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月3日	5台	令和元年12月3日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落のリスクが高い利用者様 ・状態把握、行動分析が必要な利用者様 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・4つの見守りセンサーが内蔵されていることで、利用者様に合わせた見守りを設定し、動き出しを把握、転倒リスクを減らすことができる。 ・ベッドがやや低床のため、転落時のケガのリスクを減らすことができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーがベッドに内蔵されていることで、利用者様が気づくことなく、体動に合わせてセンサーが反応し、適切に訪室ができ、転倒、転落事故を未然に防ぐことができる。 R2年度はセンサーベッド使用中の事故は7件発生し、ベッド周囲の転倒・転落事故の40%を占めたが重大事故には繋がらなかった。 (職員に対する効果) ・利用者様に合わせた見守り設定ができるため、職員の見守り業務量、精神的、身体的負担が軽減される。 ・見守りシステムがナースコールと連動しているため、記録システムへ転送され記録に残ることで、利用者様の行動パターン等の把握、分析ができ、介護の質の向上を図ることができる。 ・夜間帯の職員が少ない時間帯に複数のセンサーが反応した場合、職員の対応が遅れてしまうこともあり、課題となっている。			

ベッドからの転倒、転落事故

(別紙)

〈特別養護老人ホーム 光湖苑〉

令和2年度

日付	介護度	性別	事故内容	通常ベッド	センサーベッド
H32.5.11	3	女	ベッドから転落		○
H32.6.1	3	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.7.19	5	女	ベッドから転落		○
H32.7.22	5	女	ベッドから転落		○
H32.8.3	3	女	ベッドから移動し転倒		○
H32.8.15	4	女	ベッドから転落	○	
H32.9.12	3	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.9.27	5	女	ベッドから転落	○	
H32.11.5	4	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.11.17	3	女	ベッドから転落	○	
H32.11.24	2	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.11.24	3	女	ベッドから移動し転倒		○
H33.1.30	3	女	ベッドから移動し転倒	○	
H33.2.5	4	女	ベッドから移動し転倒		○
H33.2.14	4	女	ベッドから転落		○
H33.2.20	3	女	ベッドから転落	○	
H33.3.30	4	女	ベッドから転落	○	

・ベッドから転落事故 9件、ベッドからの移動による転倒 8件
センサーベッドを使用された方の事故は 7件だった。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)

事業所名 (老人短期入所事業 光湖苑)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーター 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月3日	1台	令和元年12月3日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落のリスクが高い利用者様 ・状態把握、行動分析が必要な利用者様 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・4つの見守りセンサーが内蔵されていることで、利用者様に合わせた見守りを設定し、動き出しを把握、転倒リスクを減らすことができる。 ・ベッドがやや低床のため、転落時のケガのリスクを減らすことができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーがベッドに内蔵されていることで、利用者様が気付くことなく、体動に合わせてセンサーが反応し、適切に訪室ができ、転倒、転落事故を未然に防ぐことができる。 R2年度はセンサーベッド使用中の事故は1件発生し、ベッド周囲の転倒・転落事故の20%を占めたが重大事故には繋がらなかった。 (職員に対する効果) ・利用者様に合わせた見守り設定ができるため、職員の見守り業務量、精神的、身体的負担が軽減される。 ・見守りシステムがナースコールと連動しているため、記録システムへ転送され記録に残ることで、利用者様の行動パターン等の把握、分析ができ、介護の質の向上を図ることができる。			

ベッドからの転倒、転落事故

(別紙)

〈老人短期入所事業 光湖苑〉

令和2年度

日付	介護度	性別	事故内容	通常ベッド	センサーベッド
H32.5.12	2	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.5.24	3	女	ベッドから転落		○
H32.8.23	4	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.9.25	2	女	ベッドから移動し転倒	○	
H32.12.30	1	女	ベッドから移動し転倒	○	

・ベッドから転落事故 1件、ベッドからの移動による転倒 4件
 センサーベッドを使用された方の事故は 1件だった。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人三愛会)

事業所名 (特別養護老人ホーム愛華の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)



見守り機器の製品名			
パラマウントベッド㈱ 「眠りスキャン」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月19日	10台	令和元年9月19日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 歩行が不安定なご利用者のベッド上での状態及び離床したことが常に把握できるため転倒等の事故を未然に防ぐことができています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 離床センサーとして活用できるほか、ご利用者のベッド上での状態（睡眠・覚醒・心拍数等）が確認できるため情報収集に役立っている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ご利用者の転倒を未然に防ぐことができています。 ベッド上での状態を常に記録できているので、ご利用者の行動を把握することができます。 (職員に対する効果) 巡視時だけではなく、常にご利用者の状態をパソコン上でチェックできるので職員の肉体的及び精神的な負担が大幅に軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 松寿園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	5 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） ・主に夜間の不穏行動に対する事故防止対策 ・ナースコールを自身で利用する事が困難で自身の判断による離床による転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ・利用者に合わせた設定によりベッドから降りる前の動きを把握 ・起き上がりセンサーが感知しナースコールが反応したら職員が直ちに訪室し対応			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ・利用者が離床し歩き出す前に訪室する事で職員が安全にトイレ誘導に付き添う事が出来た為、転倒防止に繋がった。またトイレの訴えに対する対応が早く行える事により同室の利用者の睡眠に与える影響も最小限にすることが出来た （職員に対する効果） ・トイレに頻回に起きても、起きたことがすぐに分かる為、迅速な対応が可能となった			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
事業所名 (松寿園短期入所生活介護事業所)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	1 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） ・主に夜間の不穏行動に対する事故防止対策 ・ナースコールを自身で利用する事が困難で自身の判断による離床による転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ・利用者に合わせた設定によりベッドから降りる前の動きを把握 ・起き上がりセンサーが感知しナースコールが反応したら職員が直ちに訪室し対応			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ・ショートステイではナースコールが作動する時間帯の把握する事で反応が多い時間帯に特定した対応を図れ転落防止に繋がった （職員に対する効果） ・ショートステイではナースコールが頻回に作動する事により個々のショート利用者に対する転落防止の危機意識が職員間で高まった。また事故防止対策を検討する材料ともなった			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 三和会)
事業所名 (介護老人福祉施設 第二砂丘寮)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	9 台	令和元年 11 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用様がベッド上での起き上がり時やベッドからの離床時に、転落・転倒等が予想される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより、見守りを強化する事で、事故を未然に防ぐ様に対応している。しかしながら、新たな離床センサー設置は、躓きの原因になったり、ご利用様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加する事にも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回導入した離床センサー付きベッドは、ご利用様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となる為、より適時に安全な介護を提供することを支援することができる。具体的には、ご利用様が起き上がり、端坐位及び離床などの状況を把握することが可能である為、これらの情報がリアルタイムに把握することができる為、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用様の起き上がりや離床などの動作を正確に検知することが可能となる。ベッド上の段階で危険を察知できるため、早い段階で対応が可能となり、転倒・転落のリスク回避に寄与している。又、従来のセンサーの様にご利用様の周辺にコードなどを設置する必要が無い為、躓きや手で触るなどの危険、および接触不良や断線による無反応を排除することができる。それらの結果、転倒・転落事故などの予防に繋がり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用様には、離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるが、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスクなどに対する不安感や負担感を軽減することが可能となる。死角となる居室利用時には、早い段階での対処が可能となる為、特にこの効果が顕著にみられている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 三和会)
事業所名 (第二砂丘寮ショートステイ)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	1 台	令和元年 11 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上で乗起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが予想される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぎよう、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となる為、より快適に安全な介護を提供することを支援する事ができる。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端坐位及び離床などの状況を把握することが可能である為、これらの情報がリアルタイムに把握することができる為、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。 【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がりや離床などの動作を正確に検知することが可能となる。ベッド上の段階で危険を察知出来るため、早い段階で対応が可能となり、転倒・転落のリスク回避に寄与している。又、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要が無い為、躓きや手で触るなどの危険、および接触不良や断線による無反応を排除することができる。それらの結果、転倒・転落事故などの防止に繋がり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 (職員に対する効果) ベッドからの離床などが心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用する事により、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスクなどに対する不安感や負担感を軽減することが可能となる。死角となる居室利用時には、早い段階での対処が可能となる為、特にこの効果が顕著にみられている。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人遠江厚生園)

事業所名 (特別養護老人ホーム 第二遠州の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
離床センサー付きベット (見守り機器)		パラマウントベット 離床センサー付きベット ka-n1710f	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 介護度 3~4 で認知症あり、車イスでの移動をする方 (自立歩行は不可能) ベット使用时、端座位になり歩こうとしてベットから足を下すことができるが、歩行は厳しいため、転倒の危険がある方に使用しています。 また、認知症で、ベット上で立ち上がったたり、反対側から降りたり、急な離床をする方にはセンサーの反応が早く、色々な動作に対応しているので対応が早くできます。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ベット上および、離床にたいしての反応が早く、色々な動作に対応しているので早めの対応、転倒、転落などの事故予防に効果を発揮しています。 従来の離床センサーのようにコード類がでていたりして、つまづきや、器械を触ってけがの心配がないところも安心です。 (職員に対する効果) 利用者の方のベット上での動作を検知できるため、頻繁な定期巡回をへらせることができ、介護職員の不安感、負担感の緩和に貢献しています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名（社会福祉法人 聖隷福祉事業団）

事業所名（介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園）

サービス種別（特定施設入所者生活介護）

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年 9月 30日	4台	2019年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 転倒リスクがあるご入居者に対して見守り機器4台使用している。 見守り機器の機能種類により、その時の優先度に応じ対象者を再検討し変更も行っている。会議にて使用の必要性を検討し、いずれの方も転倒のリスクが継続してある為、今後も使用の必要性があると判断されている。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ・ベッドセンサー起き上がり発報機能（ナースコール連動） ・ベッドセンサー離床発報機能（ナースコール連動）			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 4月現在使用ベッド4台使用。内ベッド周辺での転倒件数は3件。いずれも同一のご入居者の転倒であった。センサーがベッド一体型であることで、他のセンサーに比べ設置に対してご入居者から不信感をもたれないメリットがある。また転倒リスクがあるご入居者に対して使用しており、早期対応に繋がっており、ベッドからの転倒・転落予防の効果が得られていると評価する。見守り機器を使用することでご入居者に居室で安全に休んでいただけていると考えられる。 （職員に対する効果） ・起き上がり・端坐位・離床とご入居者の状態、必要度に合わせて使い分けができる。 ・配線ケーブルなどが少ない為、居室清掃の際に邪魔にならない。			

見守り機器導入効果報告書

法人名（ 社会福祉法人信義福祉会 ）
事業所（特別養護老人ホームあかなすの里）
サービス種別（ 指定介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
・コールマット・ハイパー ・サイドコール・ハイパー			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9 月 1 日	1 セット+1 台	令和 元年 8 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 臥床中に起き上がりふらつくなど転倒転落リスクの高い、認知症を患い危険行動が見られる入居者様に対し連日使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） 夜間就床後など、突然起きだそうとされる状況が多くある方に対し、センサーマットを使用しており、センサーが反応することによって随時訪問することができている。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ナースコールを押して職員を呼ぶ行為を失認したり出来ない状況の方に対しても、随時の対応が出来ることで、安心して生活することが出来ている。 （職員に対する効果） 定時巡視時以外に予想外の行動による転倒事故を未然に防ぐことができることで、安心して業務にあたることができるようになった。また、頻回な訪問による介護の手間や時間を他業務に回すことができるようになった。			



機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 清仁会)
事業所名 (介護老人保健施設あかつきの園)
サービス種別 (介護老人保健施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		FB-033L-6/30VM2 フランスベッド 見守りケアシステム	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 2 年 2 月 21 日	10 台	令和 2 年 2 月 21 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・認知症があり、体動活発でベッドからの転落や転倒の危険がある方 ・移乗動作が不安定な方 ・ベッドから起き上がり動き、危険のある方 ・データ分析は、まだやっていないが起き上がり時に気がつける為、転倒事故予防につながっている。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・常に見守りが必要だった方が、居室でゆっくり眠れるようになった。 ・転倒・転落事故が減った。 ・低床にもなる為、万が一の転落の際にも衝撃が軽減されて良い。 (職員に対する効果) ・動き出しに気づける為、安心できる。 ・センサーの反応が良く、見守りが楽になった。 ・感度や動き出しも個々に設定できるので良い。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名(介護老人福祉施設ケアホームしあわせ)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年11月30日	9台	2019年11月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、利用者がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置し、訪室回数を増やすことにより見守りを強化し、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になり、利用者に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。なお、転落、転倒が想定される利用者は多数いるため導入した当該ベッド(9台)以外は従来の市販のセンサーを併用して必要な介護の支援と転倒、転落の予防を図っている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能なため、より適時に安全な介護を提供することが出来る。具体的には、利用者が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することができ、それらの情報によりどこで、誰のセンサーが作動しているかを把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
(見守り機器の導入効果) (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、利用者の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのように利用者の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。その結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果②介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を集計した結果、当該ベッドを導入している利用者に関しては事故報告とヒヤリハットの件数が減少している。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配される利用者には、離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、利用者のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員は利用者の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果 ①介護職員の負担軽減の10段階評価表の集計結果、当該ベッド以外の利用者に対する負担は依然大きいですが、当該ベッドの利用者に対する職員の負担は昼夜それぞれ軽減されている。			

令和3年4月30日

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (ケアホームしあわせショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、利用者がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置し、訪室回数を増やすことにより見守りを強化し、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になり、利用者に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。なお、転落、転倒が想定される利用者は一人ではないため導入した当該ベッド (1 台) 以外は従来の市販のセンサーを併用して必要な介護の支援と転倒、転落の予防を図っている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能なため、より適時に安全な介護を提供することが出来る。具体的には、利用者が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することができ、それらの情報によりどこで、誰のところのセンサーが作動しているかを把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、利用者の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのように利用者の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。その結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果②介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を集計した結果、当該ベッドに関して、事故報告とヒヤリハットの件数が減少しているため、利用者の受け入れを積極的に行うことができています。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配される利用者には、離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、利用者のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員は利用者の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果 ①介護職員の負担軽減の 10 段階評価表の集計結果、当該ベッドに関して、職員の負担は昼夜それぞれ軽減されている。			

令和 3 年 4 月 30 日

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 緑生会)
事業所名 (天王介護老人保健施設)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社テクノスジャパン 製品名：コールマット・コードレス標準サイズ（HC-R）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月24日	10セット	令和元年9月24日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 重度認知症症状を有する利用者であり、危険認知力低下が著明で、転倒・（ベッド等からの）転落の可能性（重大事故につながる可能性）が高い方に使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） センサーコールと館内 PHS の連動により、コール時は最寄りのスタッフが迅速に駆けつける（事故を未然に防ぐ）ことが出来ている。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 必要時、迅速な訪室、声掛けが出来る為、転倒、転落防止につながっている。 （職員に対する効果） 上記館内 PHS との連動により、最寄りスタッフが駆けつけることが出来、業務効率が上がった。 事故を未然に防ぐことが出来る、というスタッフの安心感につながっている。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 七恵会)

事業所名 (在宅複合型施設 長上苑)

サービス種別 (短期入所生活介護)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	3 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・歩行が不安定で尚且つナースコールを押すことができず、ベッドからの転落、転倒の危険性が高いご利用者に使用。 ・普段は畳に布団を敷き休まれているご利用者が、お試しでベッドを利用する際に使用。 ・新規ご利用者で、ご家族も自宅での夜間の様子が把握できていないご利用者に使用。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ベッドからの転落、転倒の危険性が高いご利用者に対しては、動きの把握が常に行えるようになったことで、事故を未然に防ぐことができています。 ・お試しでベッドを利用するご利用者に対しては、センサー反応があった際、職員がすぐに訪室ができることで安全の確保ができており、本人の不安軽減にも繋がっている。 ・新規利用者でご自宅での夜間の様子が分からないご利用者に対しては、何かあれば職員がすぐに訪室することで、安心に繋がっている。また、センサー反応した時間や内容をケアマネ、ご家族に伝えることで夜間の状態を共有することもできている。 (職員に対する効果) ・起き上がり、端座位、離床、見守りとご利用者の状態に合わせて設定できることで、適宜センサーが反応して対応ができるため、事故に対する不安軽減や通常以上の巡回に対する負担軽減に繋がっている。また、事故件数の減少により、書類作成等の負担軽減にも繋がっている。			

機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団明徳会)
 事業所名 (介護老人保健施設エーデルワイス)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

機器の種別		機器の製品名	
離床センサー		テクノスジャパン ベッドコール・コードレス BC-RN	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 24 日	6 台	2019 年 9 月 24 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒リスクのある方 ・ナースコールが押せないため起き上がって動こうとする方 離床センサーの設置には躓きの危険性もあるためコードレスで違和感の少ない機器を導入 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・用法の活用例) ・ナースコールの連動により、コール時は最寄りのスタッフが迅速に駆けつける。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒リスクの減少 迅速な訪室 尿意のチェックが早くなる (職員に対する効果) 転倒リスクに対する不安や負担感を軽減できた 転倒防止についての意識の高まりがみられた			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 清水福祉会)
事業所名 (特別養護老人ホーム柏尾の里)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム内臓 低床 3 モーターベッド			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 11 月 27 日	5 台	令和 1 年 11 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ベッドからの転倒リスクの高い方に使用 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッドが低床にすることができ、万が一ベッドから落ちても怪我のリスクが低いことと、利用者の動き出しにセンサーが稼働し、介護員が直ちに駆けつけることができ、転倒を妨げる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 日中においても転倒リスクの高い利用者、徘徊が頻回な利用者に使用し、異変があったときにはすぐに対応でき、転倒が減った。 (職員に対する効果) 夜勤勤務者の人数が少ない時間帯でも不穏状態の利用者の動きだしにセンサーが稼働し、介護員が駆けつけることができた。また、介護員の見回りにおいても、定期巡回以外に無駄な動きが少なくなり、夜勤の勤務時間内に日誌の打ち込み等が出来るようになり、打ち込みのための居残りがなくなった。 今までは、センサーマットを使用していたが、マットに躓き職員も転倒することがあったり、マットを悪戯されたりすることもあったが、心配も無くなった。 使用方法に不都合なところはありません。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 恵和会)
事業所名 (特別養護老人ホーム有度の里)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド FBR-N135 X1 M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年 10月 31日	4台	令和1年 11月 20日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 独歩で歩行が困難な状態だが一人で離床して転倒してしまう。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 利用者の動き出しや、ベッド再度に座った時のコールによって駆けつけることが出来る。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 新規入所者は、現状を把握に時間がかかり、リスクもありましたが見守り機を使用することで転倒・転落のリスクが軽減でき家族にも安心してもらえた。 (職員に対する効果) 転倒リスクをセンサーによって回避できる安心感があり、日中夜間・立ち上がりのある利用者の見守りや訪室の回数を減らすことで、他業務の効率が上がった。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (介護老人福祉施設 しあわせの園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウントベッド 見守り支援機器ベッドシステム KA-1710F	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ 日中・夜間共に居室ベッドで休まれる入居者の状態把握に使用している。 ・ 転落の恐れがある入居者に優先して配置。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ 離床及び端座位情報がナースコールと連動しているので、入居者がベッド上で動かされた時の状態がタイムリーに把握でき、危険の早期把握や転倒転落防止に活用している。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ ベッド上で休まれている入居者の状態確認を頻回に行わずに済み、休息の妨げとならず、ゆったりと休まれる時間が増えた。 ・ ベッドからの転落や居室内の転倒が減少すると見込まれる。 ・ 従来型のセンサーとは異なり、ベッド周辺のコード設置がないため躓きが防止されている。 (職員に対する効果) ・ 介護職員の安心感につながる。効果的な見守りがあるため、転倒転落リスクに対する精神的不安が軽減した。訪室しての入居者の状態確認が減少し、身体的負担も軽減した。 ・ 見守り機器があることで、他の業務を行える時間が増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 天竜厚生会)

事業所名 (登呂の家)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月30日	4台	令和元年10月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) センサーの設置位置やご利用者の体動状況によっては反応しないことがあり、転倒転落予防の効果が薄かった。反対に、意図していない姿勢でも反応することがあり、ご利用者にとって不要な訪室がみられた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ①5つ (動き出し、起上がり、端座位、離床、離床管理) の通知モード。 ②自動見守り再開機能 (介助時や食事の際に一時停止しても、ベッドに戻れば再設定することなく自動で再開する機能)			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・誤報がないことにより、転倒転落を予防する効果が高まった。 ・不要な訪室が減り、以前と比較してプライバシーに配慮された環境を整えることができた。 ・センサー内蔵のため、センサーを別に設置する必要がなく居室内の外観が良くなった。 ・昨年度より、転倒転落等の事故・ヒヤリが減少した。 (職員に対する効果) ・液晶手元コントローラーで簡単に設定できるため、設置にかかる労力が削減された。 ・誤報がないことで無駄な駆けつけが減少し、労力の削減が図れている。 ・自動見守り再開機能により、電源の入忘れといったヒューマンエラーがなくなった。 ・介護機器活用の意識が高まった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 天竜厚生会)

事業所名 (登呂の家)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月30日	1台	令和元年10月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) センサーの設置位置やご利用者の体動状況によっては反応しないことがあり、転倒転落予防の効果が薄かった。反対に、意図していない姿勢でも反応することがあり、ご利用者にとって不要な訪室がみられた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ①5つ (動き出し、起上がり、端座位、離床、離床管理) の通知モード。 ②自動見守り再開機能 (介助時や食事の際に一時停止しても、ベッドに戻れば再設定することなく自動で再開する機能)			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・誤報がないことにより、転倒転落を予防する効果が高まった。 ・不要な訪室が減り、以前と比較してプライバシーに配慮された環境を整えることができた。 ・センサー内蔵のため、センサーを別に設置する必要がなく居室内の外観が良くなった。 ・昨年度より、転倒転落等の事故・ヒヤリが減少した。 (職員に対する効果) ・液晶手元コントローラーで簡単に設定できるため、設置にかかる労力が削減された。 ・誤報がないことで無駄な駆けつけが減少し、労力の削減が図れている。 ・自動見守り再開機能により、電源の入忘れといったヒューマンエラーがなくなった。 ・介護機器活用の意識が高まった。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人慶成会)
 事業所名 (特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウントベッド 眠り SCAN NN-1310	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
元年 9 月 16 日	14 台	令和 元年 9 月 11 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 入居者の睡眠状態を知ることは、その方の生活の質を上げるためにはとても重要なことと考える。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 夜間の睡眠の質は、精神疾患にて内服薬を変更したときの評価としてとても重要で、この機器から得られたデータは、受診時にドクターへの情報提供としてとてもよい根拠となる。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 排泄介助など睡眠が浅くなったタイミングにて介入することで、安眠につなげることが出来ている。 (職員に対する効果) 不必要な訪室が減り、業務の負担がなくなる。 ターミナル時の職員精神的ストレスを軽減できる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (静岡県厚生農業協同組合連合会)
事業所名 (介護老人保健施設 きよみの里)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
FBR-NI35 PS02 M2 見守りケアシステム内蔵低床 3 モーターベッド (フランスベッド)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	2 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドから起き上がる時の転倒、転落リスクのある利用者に使用。 ・ナースコールの使用が困難な利用者に使用。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の合わせて起き上がりの設定ができる。 ・起き上がり、離床の検知ができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・利用者の転倒、転落防止となっている。 ・訪室の回数の減少により、利用者の安眠の確保が出来る。 (職員に対する効果) ・訪室の回数が減少により、業務負担が少なくなっている。 ・個々に合わせた設定のため職員の不安の緩和ができる。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人育清会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 柿田川ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
電動ベッド		見守りケアシステム M-2 FBR-N135W2/M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年10月23日	9台	2019年10月23日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 昨年度と比べて転倒リスクが高く、ナースコールの使用の依頼が難しい方が増加してきているので、動き出しを把握できる見守りケアの必要性は高くなっている。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 見守りケアを使用して、動き出しを把握できるのは夜間には特に有効であり、転倒、転落などの防止になっている。 (職員に対する効果) 動きのある方を的確に把握できるので、職員の動きがスムーズで、無駄のないものになっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 慈照会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム浜石の郷 従来型)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		見守り機器の製品名	
見守り機器		フランスベッド 見守りケアシステム内臓 低床3モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月31日	5台	令和元年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで

【機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

- ・ナースコールを押さずにベッドから起き歩こうとされる方で、歩行不安定な方
- ・トイレ頻回な歩行不安定なご利用者が、何回もベッドよりおりトイレに行こうとする方。

(見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例)

- ・ご利用者の行動パターンに対してベッド内蔵センサーにより、ベッド上での動きを4つのメニュー(動き出し・起き上がり・端坐位・離床)と3段階の感度を設定し動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する機能を活用する。

【機器の導入効果】

(利用者に対する効果)

- ・センサーの感度が優れ誤作動が減ることにより訪室回数が減り、ご利用者の良眠を妨げることがなくなった。
- ・歩行不安定なご利用者に対し各々の動きに合わせた設定が可能のため転倒事故の予防に役立っている。
- ・ベッド一体型センサーのため、上半身の段差でさす不快感なく休むことができる。

(職員に対する効果)

- ・効率的な見守りが可能。身体的・精神的負担の軽減につながっている。(特に夜勤勤務者)
- ・誤報が少ないため無駄な駆け付けが減少し、レク等他の活動に専念できる。
- ・ご利用者の脚力低下など大きな状態の変化に安心して対応できるようになった。

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 慈照会)

事業所名 (浜石の郷 短期入所)

サービス種別 (短期入所生活介護)

機器の種別		見守り機器の製品名	
見守り機器		フランスベッド 見守りケアシステム内臓 低床3モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月31日	1台	令和元年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで

【機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

- ・夜間不穏(帰宅願望等)で且つ歩行不安定なご利用者がベッドからおり歩こうとする方
- ・トイレ頻回な歩行不安定なご利用者が、何回もベッドよりおりトイレに行こうとする方。

(見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例)

- ・ご利用者の行動パターンに対してベッド内蔵センサーにより、ベッド上での動きを4つのメニュー(動き出し・起き上がり・端坐位・離床)と3段階の感度を設定し動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する機能を活用する。

【機器の導入効果】

(利用者に対する効果)

- ・センサーの感度が優れ誤作動が減ることにより訪室回数が減り、ご利用者の良眠を妨げることがなくなった。
- ・歩行不安定なご利用者に対し各々の動きに合わせた設定が可能のため転倒事故の予防に役立っている。
- ・ベッド自体にセンサーが組み込まれているため、マット式に比べて寝心地の違和感なく休むことができる。

(職員に対する効果)

- ・効率的な見守りが可能。身体的・精神的負担の軽減につながっている。(特に夜勤勤務者)
- ・自動見守り再開機能により、電源の入れ忘れといったヒューマンエラーを防ぐことができた。
- ・ご利用者の脚力低下など大きな状態の変化に安心して対応できるようになった。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 慈照会)
 事業所名 特別養護老人ホーム浜石の郷 ユニット型)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		見守り機器の製品名	
見守り機器		フランスベッド 見守りケアシステム内臓 低床 3 モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	4 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで

【機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

- ・ナースコールを押さずにベッドから起き歩こうとされる方で、歩行不安定な方
- ・トイレ頻回な歩行不安定なご入居者が、何回もベッドよりおりトイレに行こうとする方。

(見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例)

- ・ご利用者の行動パターンに対してベッド内蔵センサーにより、ベッド上での動きを 4 つのメニュー (動き出し・起き上がり・端坐位・離床) と 3 段階の感度を設定し動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する機能を活用する。

【機器の導入効果】

(利用者に対する効果)

- ・センサーの感度が優れ誤作動が減ることにより訪室回数が減り、ご利用者の良眠を妨げることがなくなった。
- ・歩行不安定なご入居者に対し各々の動きに合わせた設定が可能なため転倒事故の予防に役立っている。
- ・ベッド一体型センサーのため、上半身の段差でさす不快感なく休むことができる。

(職員に対する効果)

- ・効率的な見守りが可能。身体的・精神的負担の軽減につながっている。(特に夜勤勤務者)
- ・誤報が少ないため無駄な駆け付けが減少し、レク等他の活動に専念できる。
- ・ご利用者の脚力低下など大きな状態の変化に安心して対応できるようになった。

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 嬰育会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 福聚荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウント 離床センサー付きベッド	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 10 日	4 台	令和 1 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 導入 2 年目となるが、職員が瞬時に対応できるため、転倒・転落の危険性がある利用者様の事故を未然に防ぐことができている。また、介護職員の心身の負担が減り、職員同士の連携がより取れるようになったため、効率的な介護の提供を行うことができた。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転落・転倒の危険性がある利用者様が、立ち上がり歩行しようとする際に、センサーが反応し職員が駆け付けるため、安全確保がより図れるようになった。また、不要な訪室を防げるため、特に夜間帯などプライバシーに配慮することができていると思う。 (職員に対する効果) 利用者様のさまざまな動きを検知し、ナースコールで知らせる事で、夜間や日中の他業務をしている際にも危険を察知することができるため、事故防止に役立っている。また、介護職員の精神的ストレスや労力が軽減されたため、業務内容を改善することができた。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 嬰育会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 福聚荘 (ユニット))
サービス種別 (ユニット型地域密着型介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウント 離床センサー付きベッド	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 10 日	1 台	令和 1 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 導入 2 年目となるが、職員が瞬時に対応できるため、転倒・転落の危険性がある利用者様の事故を未然に防ぐことができています。また、介護職員の心身の負担が減り、職員同士の連携がより取れるようになったため、効率的な介護の提供を行うことができた。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転落・転倒の危険性がある利用者様が、立ち上がり歩行しようとする際に、センサーが反応し職員が駆け付けるため、安全確保がより図れるようになった。また、不要な訪室を防げるため、特に夜間帯などプライバシーに配慮することができていると思う。 (職員に対する効果) 利用者様のさまざまな動きを検知し、ナースコールで知らせる事で、夜間や日中の他業務をしている際にも危険を察知することができるため、事故防止に役立っている。また、介護職員の精神的ストレスや労力が軽減されたため、業務内容を改善することができた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (^{社会福祉法人} 和光会)
 事業所名 (朝霧の園 従来型 /)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 20日	2台	令和1年 9月 20日	年 月 日から
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 認知症、理解力が低下した利用者の転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ひありハットの集計や会議の資料により事故防止につなげる。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 利用者の危険行動を察知することができ夜間の転倒事故が軽減された。 （職員に対する効果） ひありハットの提出が増加し気づきが増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (^{社会福祉法人} 和 光 会)
 事業所名 (朝霧の園 従来型)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 20日	2台	令和1年 9月 20日	年 月 日から
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 認知症、理解力が低下した利用者の転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ひありハットの集計や会議の資料により事故防止につなげる。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 利用者の危険行動を察知することができ夜間の転倒事故が軽減された。 （職員に対する効果） ひありハットの提出が増加し気づきが増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (和 光 会)
事業所名 (朝霧の園 ユニット)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 20日	2台	令和1年 9月 20日	年 月 日から
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 認知症、理解力が低下した利用者の転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ひありハットの集計や会議の資料により事故防止につなげる。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 利用者の危険行動を察知することができ夜間の転倒事故が軽減された。 （職員に対する効果） ひありハットの提出が増加し気づきが増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (^{社会福祉法人} 和 光 会)
 事業所名 (朝霧の園 ユニット)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
1 年 9 月 20 日	2 台	令和 1 年 9 月 20 日	年 月 日から
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 認知症、理解力が低下した利用者の転倒リスクの高い方 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ひありハットの集計や会議の資料により事故防止につなげる。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 利用者の危険行動を察知することができ夜間の転倒事故が軽減された。 （職員に対する効果） ひありハットの提出が増加し気づきが増えた。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人杉の子)

事業所名 (特別養護老人ホーム住吉杉の子園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		フランスベッド見守りシステム M-2	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 14 日	2 台	令和元年 11 月 14 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒リスクが高く見守りの必要性が高い方に使用 ・入居され夜間の様子が想定できない方に使用			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・一昨年より転倒骨折事故が減少しました。 ・夜間の排泄のリズムが分かり対応しやすくなりました。 (職員に対する効果) ・頻回に訪室せず業務の軽減と、精神的な不安の解消に繋がりました。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム灯光園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
		見守りライフ	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	6 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特別養護老人ホームには、認知症の方が入居されている。夜間や早朝にベッド内で目覚めたときに、ベッドから立ち上がり、トイレに行こうとすることがある。歩行が不安定である場合、転倒のリスクを抱えている。ベッドセンサーはベッド上の入居者の動きをコールによって夜勤者が知ることができ、転倒のリスクを大きく減らすことができる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド上でのお年寄りの動きを動き出し・起き上がり・端坐位・離床の4つのパターンで知ることができる。入居者によりリスクとなる動きが違いため個々に合わせたセッティングで対応することができる。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 認知症の入居者の夜間の動きを知ることによって、次の行動を予測することができ、事故の防止につながっている。自分が起きたいときに、タイミングよく職員が介助にはいることで、不安なく排泄を済ませ再度眠ることができる。 (職員に対する効果) 夜勤者が夜間の入居者の動きを知ることができることで、タイミングよく入居者の部屋に行くことができる。モニターで見守りができることで、精神的な不安を減らすことができている。 モニターによる集計で眠りの状態を分析し、ケアプランの中でサービス内容作成に活かすことができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)

事業所名 (特別養護老人ホーム灯光園)

サービス種別 (短期入所)

機器の種別		機器の製品名	
		見守りライフ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年9月30日	1台	2019年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 普段は在宅で過ごしており、特養入居者に比較し介護度が軽く体の動きの良い方から利用される。その中には、夜間不眠の方や、夜間せん妄のある方、徘徊のある方は含まれている。また、利用が頻回でない方は、職員がその方の動きを予測することが難しい場合がある。 見守りや畏怖を使用し、早めの対応をすることで転倒を防ぐことができる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 従来のセンサーマットは、足が床について初めて反応するものであった。見守りライフはベッド上の小さな動き(動き出し)に対応することができるので、早めに駆け付けることができる。 ・モニター上でその日だけではなく、何日かの情報を得ることができるので、昨日からの流れで生活をつかむことができる。また、介護記録と同じ画面で、呼吸、脈なども見ることができるので細かい情報をつかむことができる。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間に目覚めたときに職員がすぐ対応することで、自宅以外へ泊る時の利用者の不安を少なくさせることができる。特に見当識障害のある認知症の方には、早めの対応が安心を与える。 (職員に対する効果) 利用者の情報が少ない短期入所の場合、夜間の状態の観察ができていないことがある。夜勤に入ってから初めてその方と会うこともある。そんな時にモニターでベッド上で動き出した時からその人の動きを知ることができ、夜勤者が精神的に安心することができる。 短期の利用者の日常の生活のなかで、個室の様子が分かりにくい日中にベッドに入ることもあり、見守りライフでその様子をフロアーにいても知ることができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 大東福社会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 くにやす苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名

パラマウントベッド
 離床センサー付きベッド エスパシアシリーズ

導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 12 月 20 日	8 台	2019 年 12 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで

【見守り機器の使用状況】

（使用対象者の状態・使用の必要性等）

- ・徘徊がある利用者や転倒のリスクがある利用者を使用しており全 8 台使用している。

（見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例）

- ・利用者の睡眠、覚醒の状態を通知により確認し、早めの訪問に活用している。
- ・夜間の睡眠状態の把握をすることでケアに役立てている。

【見守り機器の導入効果】

（利用者に対する効果）

- ・睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで利用者の転倒リスク軽減に繋がっている。
- ・従来型のセンサーとは異なり、ベッド周辺のコード設置がないため躓きが防止されている。

（職員に対する効果）

- ・介護職員の安心感につながる。効果的な見守りがあるため、転倒転落リスクに対する精神的負担が軽減した。訪室しての入居者の状態確認が減少し、身体的負担が軽減した。
- ・見守り機器があることで、他の業務を行える時間が増えた。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 大東福祉会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 くにやす苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)
 ショートステイ

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付き エスパシアシリーズ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 12 月 20 日	1 台	2019 年 12 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) - 徘徊がある利用者や転倒のリスクがある利用者に使用しており全 8 台使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) - 利用者の睡眠、覚醒の状態を通知により確認し、早めの訪問に活用している。 - 夜間の睡眠状態の把握をすることでケアに役立てている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) - 睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで利用者の転倒リスク軽減に繋がっている。 - 従来型のセンサーとは異なり、ベッド周辺のコード設置がないため躓きが防止されている。 (職員に対する効果) - 介護職員の安心感につながる。効果的な見守りがあるため、転倒転落リスクに対する精神的負担が軽減した。訪室しての入居者の状態確認が減少し、身体的負担が軽減した。 - 見守り機器があることで、他の業務を行える時間が増えた。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 寿康会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 徳風園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
低床 3 モーターベッド		見守りケア システム M 2 (フランスベッド) FBR-N135 W2/M2	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
R 2 年 1 月 3 0 日	5 台	R 2 年 1 月 3 0 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・使用対象者は立位保持不安定な方や歩行困難な方達で、ベットからの滑落や転落の危険性のある方 ・使用の必要性はベットからの滑落や転倒の危険防止の為			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーマットだと起き上がってからの反応の為、滑落や転落の事故に繋がってしまっていたがいち早く察知出来る事が出来事故が減っている (職員に対する効果) ・ AI ベットの導入にて反応がとても速いので見守りの強化が出来ている			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 珀寿会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 高部陽光園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		コールマット 徘徊コールⅢ ケーブルタイプ 超音波・赤外線コール	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 1日	コールマット7セット 赤外線コール1セット	令和1年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 使用対象者は、下肢筋力の低下があり通常、車椅子や歩行器を使用している方が主である。且つその殆どが認知症による判断力の低下や指示が入らない状態であり、不測の行為による事故のリスクが高い為コールマットは必須である。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間、20名を介護職一人で看ている為、数名のコールマットが鳴った際の優先順位についての課題は残るが、コールで駆けつけることで、転倒事故は間違いなく減少している。(利用者の安全は確保できている) (職員に対する効果) 転倒事故の減少で入居者の安全が守れ、職員の精神的な安心感に繋がっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 友成医院)

事業所名 (介護老人保健施設きらりの森)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン マット徘徊コールIIIHC-3			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 元年 9月 7日	1	令和 元年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 臥床中に起き上がりなど転倒転落リスクの高い、認知症を患い危険行動がみられる利用者に対し使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 夜間就寝後などに、突然起きだそうとされる状況が多くある利用者に対し、センサーマットを使用しており、センサーが反応することによって随時訪室することができる。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) センサーコールにより夜間の必要以上に訪室回数が減り安眠に繋がっている。 (職員に対する効果) 定期巡視以外の訪室回数が減ったことで他業務に従事できる。また、夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 （ 医療法人社団 友成医院 ）
事業所名 （介護老人保健施設きらりの森）
サービス種別（ 介護老人保健施設 ）

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン サイドコール ケーブルタイプ SC-11			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 元年 9月 7日	1	令和 元年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 臥床中に起き上がりなど転倒転落リスクの高い、認知症を患い危険行動がみられる利用者に対し使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） 夜間就寝後になど、突然起きだそうとされる状況が多くある利用者に対し、センサーマットを使用しており、センサーが反応することによって随時訪室することができる。			
【機器の導入効果】 （利用者に対する効果） センサーコールにより夜間の必要以上に訪室回数が減り安眠に繋がっている。 （職員に対する効果） 定期巡視以外の訪室回数が減ったことで他業務に従事できる。また、夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 友成医院)

事業所名 (介護老人保健施設さりの森)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン ベットコール ケーブルタイプ BC-2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 元年 9月 7日	1	令和 元年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 臥床中に起き上がりなど転倒転落リスクの高い、認知症を患い危険行動がみられる利用者に対し使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 夜間就寝後になど、突然起きだそうとされる状況が多くある利用者に対し、センサーマットを使用しており、センサーが反応することによって随時訪室することができる。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) センサーコールにより夜間の必要以上に訪室回数が減り安眠に繋がっている。 (職員に対する効果) 定期巡視以外の訪室回数が減ったことで他業務に従事できる。また、夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団博恵会)

事業所名 (介護老人保健施設アリス草薙)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内臓低床3モーターベッド FB-033 L-6 30V M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	5 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 使用対象のご利用者の状態 歩行が安定せず、移動にあたっては、車椅子の利用が欠かせないが、認知症が進行しており、ベッド離床後、車椅子を使わずに独りで歩こうとすることがある。 使用の必要性 ベッドからの離床に当たり、いち早く職員が見守りにつけるようにするために必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッドから離れようと動き始めたときの情報を活用。ただし、事故防止のためとはいえ、安易に見守り機器を使用することは、過度な監視にもつながりかねないため、ご利用者が精神的に不穏な状態のときなど、就寝時間帯にもかかわらず、静かに寝ていることが難しいと判断したときに限って使用。見守り機器に頼り過ぎて、職員が、ご利用者の人権への配慮の意識を低下させないよう、気をつけて使っている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ご利用者がベッドから離れようと動き始めたことが、いち早くわかり、歩行時に職員が付き添うことができ、歩行が不安定なことにより起きる事故を未然に防ぐことができています。 (職員に対する効果) 転倒のリスクが高いご利用者への配慮、および事故への不安が軽減され、その分、精神的に余裕ができた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会)
事業所名 (特別養護老人ホーム ディアコニア)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名							
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)							
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間				
令和1年 9月 30日	8台	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで				
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドからの転倒リスクが高い方を対象に使用している。 ・足元センサー使用者の方で、センサーにつまずくリスクがある方に対して使用している。 ・ベッド上に敷くタイプのセンサー使用者に対して、体動によるセンサー反応で不必要な訪室を避けることを目的として使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・明らかな原因が特定できない事故が発生した場合に、過去の離床状況のデータを見返すことで、原因の究明に役立てることができた。							
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒事故件数の減少 <table border="1"><tr><td>令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働</td><td>119件 (要受診8件)</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>90件 (要受診4件)</td></tr></table> ・センサーベッド設置前は足元センサーにつまずいて転倒するケースが何件か発生したが、設置後はつまずく事故は無くなった。 (職員に対する効果) ベッドからの転倒回数の減少、訪室回数を減少させることで職員の業務負担軽減に繋がった。また、個々の利用者に合わせて適切にセンサーが反応したため、センサーベッド設置前に比べ、より未然に危険に対する対応が可能となり職員の安心感にも繋がっている。				令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働	119件 (要受診8件)	令和2年度	90件 (要受診4件)
令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働	119件 (要受診8件)						
令和2年度	90件 (要受診4件)						

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会)
事業所名 (特別養護老人ホーム ディアコニア・ショート)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名							
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)							
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間				
令和1年 9月30日	1台	令和1年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで				
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドからの転倒リスクが高い方を対象に使用している。 ・足元センサー使用者の方で、センサーにつまずくリスクがある方に対して使用している。 ・ベッド上に敷くタイプのセンサー使用者に対して、体動によるセンサー反応で不必要な訪室を避けることを目的として使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・明らかな原因が特定できない事故が発生した場合に、過去の離床状況のデーターを見返すことで、原因の究明に役立てることができた。							
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒事故件数の減少 <table><tr><td>令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働</td><td>14件 (要受診1件)</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>6件 (要受診2件)</td></tr></table> ・個々の利用者状況に合わせてコールのタイミングを設定でき、過度な訪室を減らすことができた。 (職員に対する効果) ベッドからの転倒回数の減少、訪室回数を減少させることで職員の業務負担軽減に繋がった。また、個々の利用者に合わせて適切にセンサーが反応したため、センサーベッド設置前に比べ、より未然に危険に対する対応が可能となり職員の安心感にも繋がっている。				令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働	14件 (要受診1件)	令和2年度	6件 (要受診2件)
令和元年度 9月末よりセンサーベッド稼働	14件 (要受診1件)						
令和2年度	6件 (要受診2件)						

機器導入効果報告書

法人名 (^{医療法人社団} 望洋会)
 事業所名 (介護老人保健施設のぞみ)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守りケアシステムM2		FBR-N135 PS02/SU/M2	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
R1年 9月30日 /	6台	R1年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状況・使用の必要性等) 認知機能の低下・高齢者で危険認知低下がある場合・入所時の状況確認 視力・聴覚機能の低下がある場合など使用 (見守り機器から得られる情報のうち、特に使用しているもの・情報の活用例) 夜間における行動の確認 夜間排泄における時間確認			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 動作時10秒くらいで介護者が傍にすることが出来安心感が得られている。 ベッドが低床にでき、高齢者には安心感が得られる。 ケーブルが無いので夜間体位が変わっても安心足元がコードでひっかけない。 臥床の方の体重測定がスムーズに測定できる事も魅力である。 (職員に対する効果) ベッドに組み込みのため寝返り中であると判りやすく、端坐位の時にアラーム音になるので、分かり易く直ぐに対応可能である。 誤作動が無いため、介護者も安心感が得られている このベッドで転落した事例はない。			

見守り機器導入効果報告書 (2回目)

法人名 (社会福祉法人斉慎会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム西之島の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社「眠り SCAN」 NN-131			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12 月 4 日	8 台	令和元年 12 月 4 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・看取り対象者や健康状態不安定な方の状態変化の早期発見のために使用しています。それ以外にも、夜間不眠の方や入居間もない方のご様子の確認にも使用することがあります。 ・転倒リスクがある方の離床センサーとしての使用もあります。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・転倒リスクがある方の離床センサーとしての情報。 ・夜間睡眠時のバイタル情報。 ・看取り対象者のバイタル情報。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒リスクがある方に離床センサーとして使用することにより、転倒リスクの早期発見と転倒未然防止に効果があります。 ・夜間不眠の方の睡眠状況を把握することにより、適正な排泄パターンの組み立てに役立っています。 ・センサーによるバイタル情報の確認により、利用者の安眠を助け夜間のプライバシーの配慮にも繋がります。 (職員に対する効果) ・転倒リスクがある方に離床センサーとして使用することにより、見守り職員のマンパワーと職員のストレス軽減に効果があります。 ・夜間睡眠状況の把握が、適正なケアマネジメントの運用に活用されています。 ・夜間のバイタル情報の把握により、職員の精神的不安・肉体的疲労の軽減を助長します。			

機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 和恵会)

事業所名 (入野ケアセンター)

サービス種別 (介護老人保健施設)

機器の種別		機器の製品名	
コールマット		テクノスジャパン コールマット 徘徊コールⅢ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年 9月 30日	11台	R1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで

【機器の使用状況】
(使用対象者の状態・使用の必要性等)

① 立ち上がり、立位保持が不安定な利用者 ② 車いすからの移乗に不安定な利用者
上記利用者の転倒リスクが高い利用者に使用
ベッドの足元に設置し端坐位になった状態で対応する。
居室の出入口に設置し、移動時の早期発見につなげる。
*特に夜間帯での活用

【機器の導入効果】
(利用者に対する効果)

転倒事故件数
H30年度 55件
R1年度 22件
R2年度 19件

(職員に対する効果)

業務負担による職員離職者数 *夜間帯の負担理由による離職
H30年度 3件
R1年度 0件
R2年度 0件

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 行和会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 葵の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUI-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 25 日	①×1 台 ②×4 台	2019 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・認知症状による昼夜 (特に夜間) のベッドからの起きだし、ずり落ちが頻回な入所者様のベッドからの転落予防。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・①超音波・赤外線コールによる入所者様の夜間の起きだし等をコールの発生時間や回数などから頻度や時間帯などの情報として分析することができ職員間での情報共有し転落予防に繋がっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーコールにより夜間の訪室回数を各入所者様で把握ができ、必要以上に訪室しなくてすむため入所者様の安眠に繋がっている。 ・転倒に繋がる動きを察知でき、事故を防ぐことができています。 (職員に対する効果) ・夜間職員数が少ないため、入所者様への訪室回数が減ったことや、コールによる対応ができることにより夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 行和会)
 事業所名 (地域密着型介護老人福祉施設 こうこうの里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUT-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年9月25日	①×1台 ②×1台	2019年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・認知症状による昼夜(特に夜間)のベッドからの起きだし、ずり落ちが頻回な入居者様のベッドからの転落予防。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・①超音波・赤外線コールによる入居者様の夜間の起きだし等をコールの発生時間や回数などから頻度や時間帯などの情報として分析することができ職員間での情報共有し転落予防に繋がっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーコールにより夜間の訪室回数を各入居者様で把握ができ、必要以上に訪室しなくてすむため入居者様の安眠に繋がっている。 ・転倒に繋がる動きを察知でき、事故を防ぐことができています。 (職員に対する効果) ・夜間職員数が少ないため、入居者様への訪室回数が減ったことや、コールによる対応ができることにより夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 山川会)
 事業所名 (介護老人保健施設 ケアセンター芳川)
 サービス種別 (通所リハビリテーション)

機器の種別		機器の製品名	
入浴支援機器		(株)いaura リフト付きシャワーキャリー LS-500	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2021 年 2 月 5 日	1	2021 年 2 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 要介護度5の方が使用 立位保持が不能の為、リフト付きシャワーキャリーが必要。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 移乗が楽に行える為、転倒や皮膚剥離等の予防となっている。 安心して安全な入浴ができている。 (職員に対する効果) 移乗が楽に行えるため、職員への負担が大幅に軽減した。 腰痛軽減、予防になっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (株式会社グリーンランド)
事業所名 (ナーシングホーム静養館御前崎オアシスパーク)
サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N135 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	8 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落リスクの高いお客様 ・状態把握、行動分析が必要なお客様 を対象。 ・ベッドから動き出す際の察知が必要。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・動き出し、起き上がり、端座位などの離床予知アラームを特に活用している。 ・お客様の動作時間情報を活用し、訪室までの時間を考え、どの時点でのアラームが必要か設定可能となっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒防止、安全確保ができています。 ・お客様個々に合った対応が可能。 ・センサーに対する違和感の軽減。 ・過度な巡視でご本人の睡眠を妨げられることなく良質な睡眠が取れている。 (職員に対する効果) ・早い段階でお客様の動きを察知できる為、転倒防止、安全確保ができた。 ・職員も穏やかに自然に介護することができた。 ・事故防止に対する心理的ストレスの軽減。不安感・負担感の軽減。 ・最適なタイミングでの訪室が可能となり、業務改善につながった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (株式会社ナガシマ)
 事業所名 (ナーシングホーム静養館)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-NI35 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	4 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落リスクの高いお客様 ・状態把握、行動分析が必要なお客様 を対象。 ベッドから動き出す際の察知が必要。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・動き出し、起き上がり、端座位などの離床予知アラームを特に活用している。 ・お客様の動作時間情報を活用し、訪室までの時間を考え、どの時点でのアラームが必要か設定可能となっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒防止、安全確保ができています。 ・お客様個々に合った対応が可能。 ・センサーに対する違和感の軽減。 ・過度な巡視でご本人の睡眠を妨げられることなく良質な睡眠が取れている。 (職員に対する効果) ・早い段階でお客様の動きを察知できる為、転倒防止、安全確保ができた。 ・職員も穏やかに自然に介護することができた。 ・事故防止に対する心理的ストレスの軽減。不安感・負担感の軽減。 ・最適なタイミングでの訪室が可能となり、業務改善につながった。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人十字の園)

事業所名 (松崎十字の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		眠り SCAN	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 27 日	2	2019 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 2 台共、夜間帯、浅眠・不眠傾向である利用者の方が使用している。その際の中途覚醒時に転倒、転落等の事故リスク有り。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間入眠中の睡眠リズムを評価する事で、日中の生活リズムを整え、快適な就寝環境を提供する事が出来る。 (職員に対する効果) 夜間帯の事故に対する意識向上と、事故防止につながり心身の負担軽減につながっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団健社会)

事業所名 (介護老人保健施設アポロン)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
パナマウントベッド(株)エスパシアシリーズKA-N1470F			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12月21日	10台	令和元年 12月21日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ベッドからの転落の危険性がある利用者 立ち上がり、歩行の際に転倒のリスクが高い利用者 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 離床センサーによる行動の把握、転倒防止 超低床機能によるベッドからの転落時の重大事故防止			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 離床時、立ち上がりと歩行による転倒リスクの回避 超低床機能によるベッドからの転落時の重大事故防止 離床センサーにより行動把握ができ、自立支援に繋がる (職員に対する効果) 夜間帯の見守り負担の軽減			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 千寿の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド (株) 見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ(KA-N1710J)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	7 台	令和元年 12 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間、排泄で起きられる方、また浅眠・不眠等で起きる方に使用。 特に転倒や受傷リスクの高い利用者と新入居利用者の状況・状態把握に(特に夜間)に必要である。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) センサー反応があることで、特に夜間の行動(体動)がわかり、利用者によっては睡眠状態や排泄時間の目安や回数等が把握できた方もいる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の状態・状況に合わせたセンサー設定ができることで、その方にあった見守り・支援ができ、利用者のプライバシーに配慮できる。 特に夜間の体動はセンサー反応があることで事前の対応ができ、転倒や転落へのリスクを軽減することができている。 (職員に対する効果) センサーベッドの設定、操作方法が簡素化され、目視での確認がしやすくなったことで設定ミスが減った。 利用者の状態・状況に合わせたセンサー設定ができることで、その方にあった見守り・支援ができ、不要な訪室回数が削減できたことで、精神的・肉体的な疲労感の軽減が図れた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 千寿の園)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド (株) 見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ(KA-N1710J)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	1 台	令和元年 12 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間、排泄で起きられる方、また浅眠・不眠等で起きる方に使用。 特に転倒や受傷リスクの高い利用者と新入居利用差の状況・状態把握に(特に夜間)に必要である。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) センサー反応があることで、特に夜間の行動(体動)がわかり、利用者によっては睡眠状態や排泄時間の目安や回数等が把握できた方もいる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間の体動はセンサー反応があることで事前の対応が出来、転倒や転落へのリスクを軽減することはできている。 新規利用者の夜間の状況把握において、センサー反応があることで、利用者のプライバシーに配慮した見守り方ができる。 利用者によっては利用時の生活パターンを把握することで、在宅生活がより自立支援にむけたものとなる方もいる。 (職員に対する効果) 短期利用者に関しては、特に新規利用者の夜間状況の把握に効果を得ている。センサーベッドを使用することで、定時の巡回と反応があった際に対応することで、精神的にも肉体的にもストレスの軽減が図れた。			

機器導入効果報告書

法人名（ 社会福祉法人 信愛会 ）
事業所名（ 特別養護老人ホーム 和みの郷 ）
サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		ペイシエントウォッチャーP l u s	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月30日	8台	令和1年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 自立度は比較的高いが、起き上がり、移乗動作が不安定で見守りが必要な方に使用している。 また、移乗、移動のリスクは少ないが、所在確認が必要な方も使用している。			
【機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 職員の過度な介入がなくなり、ご利用者の尊厳を保ちながら安全に居室にて過ごされることができている。 （職員に対する効果） 巡回の頻度が少なくなり、職員の負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 喜久の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド (株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12 月 31 日	5 台	令和元年 12 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 認知症重度、ナースコール使用方法への理解困難、トイレ頻回、昼夜逆転、新規利用者それぞれの状態に合わせ、その利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを感知することが可能となった。見守り機器により、適切なタイミングで訪室や対応をすることが出来、より安全かつプライバシーへの配慮したケアを提供できている。ユニットごと使用対象者を選定し、安全かつ適切に使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 活動 (起きだしやトイレ等) 時間、間隔、経過時間等。またそれらに対応する支援。情報を集め分析することにより、生活全般の把握や支援に繋がる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の居室ベッド上での転落や転倒リスクへの回避が出来るようになった。利用者によっては、生活パターンを把握することにより、職員の見守りや介入により自立支援に向けた生活を送ることが出来ている。 (職員に対する効果) ユニット型施設でかつ、全室個室である為、ベッド上での動きの把握の必要性がある利用者への対応が可能になった。夜間帯や人手が薄い時間帯、介護職員の身体的・精神的負担の軽減にも繋がっている。また見守り機器を活用しながら、介護職員は利用者へのケアやサービスの質の向上にむけての支援を把握・検討することができるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 喜久の園)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド(株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月31日	1台	令和元年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 新規利用者、認知症重度、ナースコール使用方法への理解困難、トイレ頻回、昼夜逆転等々、それぞれの状態に合わせ、その利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを感知することが可能となった。見守り機器により、適切なタイミングで訪室や対応をすることが出来ており、より安全かつプライバシーへの配慮したケアを提供できている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 活動(起きだしやトイレ等)時間、間隔、経過時間等。またそれらに対応する支援。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の居室ベッド上での転落や転倒リスクへの回避が出来つつある。短期利用者は日常の過ごし方を把握しにくい部分が多いが、利用者によっては、施設利用時の生活パターンを把握することにより、在宅生活がより自立支援にむけたものになる方もいる。 (職員に対する効果) ユニット型施設でかつ、全室個室である為、ベッド上での動きの把握の必要性がある利用者への対応が可能になった。夜間帯や人手が薄い時間帯、介護職員の身体的・精神的負担の軽減にも繋がっている。また見守り機器を活用しながら、介護職員は利用者へのケアやサービスの質の向上にむけての支援を検討する機会となっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 富士厚生会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム シャローム富士川)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 1 日	3 台	令和元年 9 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ① お看取り介護中の方及び危篤状態にある方…身体状況の観察からでは把握できない状態の変化へいち早く気付く為 ② 新規入居者…日中の静養時、夜間の入眠時、特に夜間の睡眠状況を把握し本人の睡眠、静養を妨げないケア確立の為 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ① 対象者の呼吸数、心拍数…平均値を割り出し、その範囲からの上昇、下降に合わせより迅速な医療従事者への連絡が行えるなど、以前よりも早い対応が取れています。 ② 対象者が覚醒しているか、熟睡しているか…排せつ介助等対応に当たる際、熟睡されている状態時に声掛けなどで睡眠妨げてしまい不安にさせBPSDを助長してしまうことがありましたが睡眠状況を把握することで不快な思いをさせることなく覚醒している時に必要な対応が行えるようになりました。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ① より、大事に至る前に医療的な対応が行えるようになりました。 ② 排せつ介助等対応に当たる際、熟睡されている状態時に声掛けなどで睡眠妨げてしまい不安にさせBPSDを助長してしまうことがありましたが睡眠状況を把握することで不快な思いをさせることなく覚醒している時に必要な対応が行えるようになりました。 ③ ②の対応が行えた事で、本人に適した睡眠がとれるようになり、昼夜逆転傾向の改善ができ、日中活動時間を延長し活気ある生活に繋げることが出来ました。 (職員に対する効果) ① 対象者を目の前にしていなくてもその時点での状態把握が行えるためいち早い対応準備ができ、安心感が増しました。 ② 情緒不安定な方が睡眠を妨げられることにより不穏となり、徘徊等BPSDを助長し見守りに時間を割かれた方々への支援が遅れてしまうこと等があったが熟睡している状態に声掛けなどを避けることが出来、結果BPSDが解消され不必要に刺激してしまうことがなくなりました。また、支援の遅れを軽減することが出来ています。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人葉月会)

事業所名 特別養老ホーム (亀寿の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
センサーマット		コールマットコードレス HC-R(MSN1200R)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月30日	5台	令和1年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間帯ベット臥床後、立位困難もしくは歩行困難でありながら認知症で状況理解できず起き上がってベットから降りようとする等、見守りがないと転倒リスクが非常に高い方に使用しています(転倒リスクの高いご利用者が転倒転落の危険性が高まった際にナースコールと連動する機能)。プライバシー保護の観点から、センサーがなる頻度、時間等を安全対策委員会が中心となり分析を行い、不必要な時間のセンサーマット使用解除をおこなっています。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ベットからの転倒転落数の減少。 (職員に対する効果) ・夜間帯の不要な訪室数を減らすことができ、介護負担軽減につながっている。 ・事故による職員の精神的負担軽減にもつながっている。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 県民厚生会)
事業所名 (特別養護老人ホーム きらら藤枝)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		眠りSCAN (NN-1310)	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月31日	7台	令和2年1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・特養の平均介護度が4.1であり、介護度の高い入居者様が多い。 ・移動や移乗等に見守りや介助が必要な入居者様が多い。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・呼吸数や心拍数から体調不良の兆候を掴むことが出来る。 ・覚醒や起き上がり、離床といった各々の入居者様に合わせた検知設定をすることにより、個別ケアの実施。転倒や転落などの事故の予防。 ・夜間の睡眠状況や生活リズムの把握。 ・ナースコールを押すことが難しい入居者様の行動把握。 (職員に対する効果) ・アラームによるお知らせ機能により、特に夜勤職員の心理的負担の軽減。 ・定時巡視時以外での入居者様の状況や予想外の行動への対応がしやすくなった。			

機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人ほなみ会)
事業所名 (特別養護老人ホーム南風)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		パラマウントベッド株式会社 エスパンア 介護用電動 3 モーターベッド KA-N1710F	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 1 日	5 台	令和元年 11 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 認知症等のため危険認識が不十分で転倒のリスクが高い入居者に対し、昼夜問わずベッド臥床時に使用している。 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 常時居室での見守りが必要な入居者に対し使用し、対象の入居者に対し個別で機器の設定ができるため、ベッド上での動きをリスク別で検知し入居者の精神安定につながっている。			
【機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 訪室のタイミングが個別で対応できるため、夜間の安眠に繋がっている。また、過剰な行動制限が回避でき、早期の対応も可能なため転倒事故等のリスクが回避できている。 (職員に対する効果) 令和2年4月1日実施のアンケートと同じアンケートを令和3年4月1日実施した。 身体的、精神的負担軽減を実感している職員は80%で、機器の導入より期間が経過しているため導入以前との比較は難しいと思われる。しかし、機器の使用方法については95%の職員が理解しており、使い慣れてきていることが分かった。 個別のタイミングでの訪室が可能なため、職員の負担軽減につながっていると考察する。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)
 事業所名 (あしたかホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	2 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ナースコールを押さずにベッドから起きようとされる、転倒リスクが高い方。 転倒を防ぐために今までベッドを使うことを避けて布団を使用されていた方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) おもに起き上がり検知機能を活用し、ベッド上で頭や上体を起こした時点で PHS が鳴るように設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・起き上がり動作を検知するためご利用者が動き始める段階で訪室することができ、転倒を防ぐことができる。ただし、上半身がベッドから離れたら鳴る設計のため、円背が強い方や多動な方の場合はずいぶん鳴ってしまうので適用ではない。 ・床上 15.5cm の超低床ベッドのため布団から移行しやすい。転落の危険がある方は超低床にしてさらに横にマットを敷くようにしており、外傷や骨折を防ぐことができる。 (職員に対する効果) ・既存の離床センサーの場合は個々のご利用者における適切な設置場所に苦慮していたが、センサーが内蔵されているためその心配がない。 ・センサーはベッド下部のアクチュエーターに内蔵されている構造のため、衝撃や水濡れの危険が低い。また、センサーの電源はベッドから直接給電できるため配線が増えず、看取り支援の方をベッドごとリビングにお連れする時などにコードを巻き込む危険が軽減する。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)
 事業所名 (ニューあしたかホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	3 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ナースコールを押さずにベッドから起きようとされる、転倒リスクが高い方。 転倒を防ぐために今までベッドを使うことを避けて布団を使用されていた方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) おもに起き上がり検知機能を活用し、ベッド上で頭や上体を起こした時点で PHS が鳴るように設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・起き上がり動作を検知するためご利用者が動き始める段階で訪室することができ、転倒を防ぐことができる。ただし、上半身がベッドから離れたら鳴る設計のため、円背が強い方や多動な方の場合はずかな動きで鳴ってしまうので適用ではない。 ・床上 15.5cm の超低床ベッドのため布団から移行しやすい。転落の危険がある方は超低床にしてさらに横にマットを敷くようにしており、外傷や骨折を防ぐことができる。 (職員に対する効果) ・既存の離床センサーの場合は個々のご利用者における適切な設置場所に苦慮していたが、センサーが内蔵されているためその心配がない。 ・センサーはベッド下部のアクチュエーターに内蔵されている構造のため、衝撃や水濡れの危険が低い。また、センサーの電源はベッドから直接給電できるため配線が増えず、看取り支援の方をベッドごとリビングにお連れする時などにコードを巻き込む危険が軽減する。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス上島レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 19 日	6	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 ・終末期の入居者の心拍の確認ができた。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス富塚レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 3 月 4 日	5	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 ・終末期の入居者の心拍の確認ができた。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス見付レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 28 日	5	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 ・終末期の入居者の心拍の確認ができた。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)
 事業所名 (ラクラス見付ショートステイ)
 サービス種別 (単独型短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 28 日	3	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある利用者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある利用者の起き上がり情報 ・利用者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事故が減少した。 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足が向上した。 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安が払拭され、精神的負担が軽減された。 ・巡視回数が削減でき、身体的負担が軽減された。 ・職員の負担軽減により離職防止につながった。			

機器導入効果報告書

法人名 (静岡鉄道株式会社)

事業所名 (グライフ北安東)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

機器の種別		機器の製品名	
見守り機器		眠り SCAN NN-1520 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 3 月 16 日	5 台	2020 年 3 月 16 日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ グライフ北安東の入居者 (要支援及び要介護、全居室設置) ・ 睡眠データを介護記録システムと連動。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ 睡眠状況データ (介護記録と連動、期間ごとのデータ抽出) ・ リアルタイムモニターによる睡眠状況の把握。			
【機器の導入効果】 ・ 一ヶ月単位などまとまった期間で睡眠データを抽出し、日中の活動量と夜間睡眠のバランスを図ることが出来た。 ・ これまで見えていなかった無呼吸症状や浅眠状態を把握でき、協力医と連携することで、医療的なケアの方針につなげる事が出来た。 ・ リアルタイムモニターにより、排泄パターンや夜間でも動きが活発になる時間を把握し、その方にあったケアに入ることが出来た。 (職員に対する効果) ・ 担当者会議などの入居者の支援方針を決定する場面で、睡眠データを活用出来ている。 ・ 見守り業務が効率化し、覚醒リズムや排泄パターンを把握することで各々にあったケアが行えており、夜間帯業務が効率化している。 ・ 一部時間帯を眠り SCAN による巡回として実施することで、業務が効率化され、安全性に配慮したうえで月に数回程度、夜勤人数を 4 名→3 名といった勤務体制を取ることが可能となった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 志太会)

事業所名 (ユニケア岡部)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月 18日	3台	令和2年 3月 18日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ナースコールを押さずに立ち上がり移動してしまう利用者様3名を選定し、しようしている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・フロア設置用の為特にありません			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ナースコールを押さずに立ち上がり移動してしまう利用者様の転倒もなくなり、QOLの維持向上にもつながった (職員に対する効果) ・介護職員の安心感、精神的ストレスの軽減になっている。(特に夜間帯など介護職員の少ない時)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 宝美会)
 事業所名 (浜名病院・浜名病院介護医療院)
 サービス種別 (介護医療院)

見守り機器の製品名			
見守り機能付き 高機能エアマットレス アメリア			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年3月4日	5台	令和2年3月4日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ① 摂食不良や脱水・低栄養状態の方の症状が改善傾向の時の使用が適する。又、ADLの上昇傾向時にも適していた。 ② 圧迫骨折後の安静臥床時に適する。 ③ 褥瘡発生患者、発生リスクの高い患者に使用した。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 「体動」「起上り」「離床」のセンサー設定の中で「離床」設定が多く使用された。患者の働きがわかり、早急な対応ができています。 「離床」では間に合わない場合「起上り」に変更し、対応した。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ① 体位変換時間の延長により、良質な睡眠の確保ができています。 センサー利用者の睡眠導入剤の使用をなくすことができた。 ② 圧迫骨折後の入所者様へ使用することで臥床時の苦痛改善となった。 ADLアップが順調に進む中、転落事故なく改善された。 ③ 低栄養、脱水患者のADL拡大傾向時に安全な対応ができています。 また褥瘡発生件数の減少(導入期に入所者5名に褥瘡の方がいたが、令和3年3月までに全て治癒に至った。 (職員に対する効果) ① 認知症患者様に利用することで転倒転落防止ができています。 ② 腰痛予防や業務負担の軽減につながっている。			

機器導入効果報告書

法人名（ 社会福祉法人 晃仁会 ）

事業所名（特別養護老人ホーム湖東の杜）

サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

機器の種別		機器の製品名	
テクノスジャパン 離床センサー		徘徊コールⅢ HC-3 ベッドコール・ケーブルタイプ BC-3	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月31日	3台／2台	令和2年 3月18日	年 月 日から 年 月 日まで
【機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） ・麻痺等によりナースコールを押すことができない利用者のためにセンサーマットが必要。 ・不穏時や歩行が不安定な利用者の安全確認や付き添いの対応するためにセンサーマットが必要。 ・トイレが頻回である利用者がトイレで安全に排泄が出来るように対応するため、センサーマットが必要。			
【機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ・安全確認のため頻回に訪室しなければならなかったが、センサーマットを設置したことにより訪室する回数が減り利用者のプライバシーを保つことができた。 ・一人歩きが不安定な方がベッドから起き上がる時にコールが鳴るので、ベッドを降りる前に訪室することが出来、転倒事故を未然に防止することができた。 （職員に対する効果） ・転倒転落リスクが減る事によるヒヤリハット・事故の減少。 ・介護職員が少ない時間帯や一人で見守りをする際の不安、ストレスの軽減。 ・利用者の行動を制限する事なく介護することができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム楓の丘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
超音波赤外線コール・ベッドコールコードレス			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2020年 3月 31日	4セット	2020年 3月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 転倒リスクが高い方、動き出しのタイミングが把握できない方、転倒アクシデント・インシデントの改善として使用した。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 「センサー反応チェック表」を活用し、反応時間や行動パターンを把握し、職員間の共有に努めた。カンファレンスにも活用することで多職種が情報共有でき、ケアに反映できるようになった。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサー反応により動き出しの把握ができ、転倒リスクが減少した。 ・夜間の過度な訪室がなくなり、睡眠時間を確保できるようになった。 ・眠前薬の内服のタイミング、間食の提供等により、睡眠にも変化が出ていた。 (職員に対する効果) ・多職種が情報共有し連携を図ることで、生活のパターンの把握に努めることができた。 ・カンファレンスによりセンサーを外した後の職員の不安が見られることがあった、外した後の様子観察とカンファレンスを実施し、不安軽減を図った。 ・安易にセンサーに頼らず、お客様の行動を知るための手段として位置付け、委員会活動を中心としたお客様理解の取組を継続して行うことができた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム百恵の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
(株)テクノスジャパン コールマット・徘徊コールⅢ 型式 HC-3			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月19日	1セット	令和2年 3月19日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特に職員配置の少ない夜間帯において、自居室のベットから離れる傾向のある入所者様向けに、転倒事故防止の他、スムーズな見守り・声掛け・支援を行っています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) マットに内蔵されたセンサーにより、入所者様の生活行動の一部を自然な形で事前に察知 (ナースコール・PHS連動) し、適切なタイミングで入所者様居室へ出向き対応が継続してできています。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ■この機器を導入した居室においては、転倒事故は発生していません。 ■夜間帯におけるトイレ誘導等もスムーズに行われています。 (職員に対する効果) ■常時、気に掛けながら、各居室を廻り必要なケアを行います。事前に入所者様の行動を察知 (ナースコール・PHS連動) できる精神的な安心感の中で業務ができています。 ■何より、転倒事故防止に繋がっており、入所者様の日々の穏やかな暮らしをサポートできている状況が継続しています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム百恵の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
(株)テクノスジャパン 超音波・赤外線コール 型式 HUI-R			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月19日	2セット	令和2年 3月19日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特に職員配置の少ない夜間帯において、自居室からトイレや共同生活スペースへ移動する傾向のある入所者様向けに、転倒事故防止の他、スムーズな見守り・声掛け・支援を継続して行っています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 赤外線センサーにより、入所者様の生活行動の一部を自然な形で事前に察知 (ナースコール・PHS連動) し、適切なタイミングで入所者様居室へ出向き対応ができています。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ■この機器を導入した居室においては、転倒事故は発生しておりません。 ■夜間帯におけるトイレ誘導等もスムーズに行われています。 (職員に対する効果) ■常時、気に掛けながら、各居室を廻り必要なケアを行いますが、事前に入所者様の行動を察知 (ナースコール・PHS連動) できる精神的な安心感の中で業務ができています。 ■何より、転倒事故防止に繋がっており、入所者様の日々の穏やかな暮らしをサポートできている状況が継続しています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)
 事業所名 (あしたかホーム 短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
ハカルプラス株式会社 CAREai つながるモデル 超音波離床検知システム			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月 25日	2台	令和2年 3月 25日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・新規利用者の夜間の状態把握に使用(立ち上がりや歩行、トイレ動作、睡眠状態など) ・居室での転落や転倒のリスクが高いがナースコールの使用が困難な方 ・徘徊のリスクがある方 ・日常生活動作を行う時に介助を必要とされる方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の行動に合わせて超音波センサーを設置し、起居・立ち上がり・離床の検知に活用 ・検知後は職員が持つペンダントやリビングに設置した親機へ通知され、職員が居室へ訪室している			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・三脚やマグネット、クリップを使用して利用者の動きに合った位置へ設置可能であり、転落・転倒などの事故予防に繋がっている。 ・職員による過度な見守りや訪室が軽減し、利用者への精神的負担の軽減が図れている。 ・利用者が必要とする場面で職員の介入が可能になっている。 (職員に対する効果) ・利用者の居室での様子や夜間帯の様子を把握でき、職員間での情報共有に繋がっている。 ・他の介護業務を遂行しながら効率的に利用者の見守りを行えてきている。 ・見えない場所で発生する事故への不安や一人で夜勤に従事する職員の精神的負担が軽減している。			

機器導入効果報告書

法人名 (株式会社アース)

事業所名 (でらいと焼津)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

機器の種別		機器の製品名	
見守り支援システム		パラマウントベッド株式会社「眠り SCAN」	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和3年 1月 15日	5	令和2年 3月 31日	年 月 日から 年 月 日まで

【機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

ADL が低下している方、認知症状による不測行動を有する方に対して、巡視のみに頼らず情報を確認でき適格な対応に繋げることが可能となります。

在室確認、就寝・起床・離床の状態把握に活用。またバイタル値の状態も把握。

【機器の導入効果】

(利用者に対する効果)

事故や急変のリスクを軽減出来ているとともに、利用者の見守られている安心感も出ている。

(職員に対する効果)

熟練した介護職員が不足する中、介護業務における巡回に係る業務量を軽減出来ているおり心理的なストレス軽減に繋がっている。

今回の導入は、全館ではなく一部の利用者に導入した。今後更に活用の幅を広げて業務の軽減に繋げていきたい。